



森のなかま

2013年2月号

NO. 58 (継続203号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会

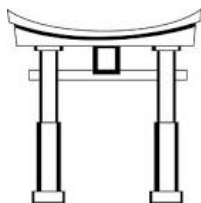
<http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014

厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館

TEL 046-280-4101・FAX 046-280-4102



平成25年度 山の神祭 厳かに開催!!

山仕事の安全と森林づくりボランティア活動の
さらなる隆盛を祈念して

< 事務局長 竹島 明 >

連日の厳しい寒気もゆるみ、無風、好天に恵まれた平成25年1月13日(日)、かながわ森林インストラクターの会恒例の「山の神祭・会員の集い(新年会)」が会員60余名の参加をいただき、盛大に執り行われました。

9時30分、小田急新松田駅で湘南富士急バスに乗り込んだ一行は一路私達の活動フィールドやどりき水源林を目指す。

10時、一行はやどりき水源林の祠(ほくら)の前に参集し、森林文化部会武者直氏の祝詞(のりと)奏上後、会、森林文化部会そして1期から12期までそれぞれの期が祭壇に玉串を奉奠(ほうてん)し、この一年の山仕事の安全と、森林づくりボランティア活動のさらなる隆盛を祈念した。

その後、やどりき水源林休憩棟前で会、各期、そして会員有志から奉納されたお神酒で、神様の霊力の恩恵をいただく直会(なおらい)の儀を初春祝うかごとき心地よい陽光を浴びながら1時間ほど行う。

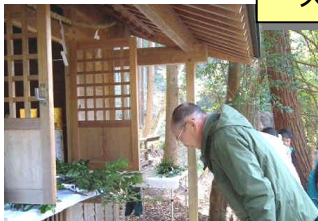
午後からは今回初めてお世話になる事になった割烹「千代田屋」で、例年とは趣を変え立食パーティー形式で新年会を行う。司会を担当していただいた村井理事の進行のもと、会員相互に今年の抱負等を語り合う中で2時間ほどの楽しいひと時はあっという間に過ぎて行きました。

あらためてご参加いただいた多くの会員の皆様に感謝するとともに、準備に携わっていただいた森林文化部会、事務局の皆さんのご協力に感謝しつつ報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

新年会(初利用千代田屋にて)

久保理事長



献杯 武者氏



立食パーティスタイル



奉納 御神酒



(写真:広報部 鈴木松弘)

平成24年度『第3回ブラッシュアップ研修』が行われました。

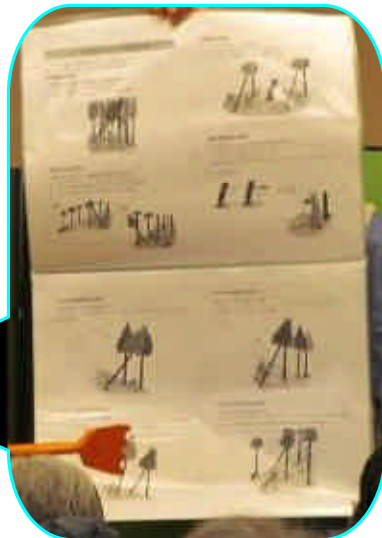
2012年12月22日(土) 場所：相模原市緑区 鳥屋造林組合所有林

< (公財)かながわトラストみどり財団 古館 彩子 >

平成24年度最後のブラッシュアップ研修は、ボランティア活動の中で特に安全性が求められる作業、「間伐」の技術向上を目指してもらう目的で、12月22日(土)に実施しました。冷たい雨の中、43名の受講生が間伐技術研鑽のために集合しました。朝から、現場での作業が難しい状態の雨が続けていたので、相模原市緑区鳥屋にある鳥居原ふれあいの館内の会議室に入り、午前中は受講生からの質問に答える形の講義を行ないました。



午前中 雨の為に室内での講義



今回、講師にお招きしたのは有限会社相馬造林 代表取締役相馬福平氏と社員の柴崎明氏です。相馬さんは、林業の現場技術者として技術に裏打ちされた仕事に対する姿勢が高く評価されており、安全で効率的な作業を行なう工夫を重ねておられ、平成24年度の森の名手・名人(国土緑化推進機構選定)に選ばれました。その技術を実際に見せってもらうため、午後から間伐作業の実技をお願いしました。受講者が選んだ間伐木を掛かり木にしてもらい、掛かり木処理に使うフェリングレバーの使い方、スリングや滑車の据え付け方などを教えていただきました。



午後 プロの実技



本来は1日中、山の現場で受講者も班ごとに分かれて間伐作業を行ない、それぞれの作業に対して、講師の方々にアドバイスをもらいながら技術研鑽をする・・・研修の予定でしたが雨により作業は断念、講義と技術見学のみの研修となってしまいました。来年こそは、1日実地研修を行ないたいと考えています。

25年度もぜひブラッシュアップ研修へ参加をよろしくお願いします。

『研修生感想』

<9期 小沢 章男>

今日は何時も実技で指導している立場から改まり日ごろの内容をチェックし、さらにブラッシュアップの効果を持ち帰りたい参加させて頂きました。残念ながら雨天の為午前中は会議室での質疑応答に成り、参加者から相馬造林の相馬社長及び柴崎様へ忌憚のない質問を発し、それぞれの作業内容に対する確認をする事が出来ました。午後からは山に入り間伐の実技を見学しプロの技を垣間見る事が出来ました。如何せん、午前中の雨天の為、実地研修時間が取れなかったため、次回の指導を期待します。

自然観察部会 探鳥会『冬の酒匂川の野鳥を楽しもう!!』酒匂川～飯泉の堰

一回目：1月7日(月) 晴れ、二回目：1月14日(荒天の為中止)

講師インストラクター：3期 高橋 恒通 様、7期 武本 弘次 様

< 上宮田 幸恵 (11期) >

新年早々の探鳥会「冬の酒匂川の野鳥を楽しもう!」と、9時に小田原駅(東口)集合、バス利用で箱根駅
 伝に湧いた1号線を15分ほど走りビジネス高校で下車、徒歩3分で酒匂川の河川敷
 に到着です。風もなく穏やかでこの季節らしからぬ暖かさ、まさにバードウォ
 ッチング日和となりました。

オスプレイ



早速、「オスプレイ(Osprey)が見られると良いですね!」と 高橋講師から驚きの発
 言!?? 河川敷で飛行訓練でもあるのだろうか!?? ところがこれは主に海岸
 に生息する猛禽類のミサゴの事でした。ミサゴの餌は99%が魚で空中に静止するホ
 バリング飛行で餌を見つけ、獲物を見つけると急降下し水面近くで足をのばし両足
 で捕える!! 今話題のオスプレイはこのミサゴにちなみ命名されたのだとのっけから心を驚掴み(わしづか
 み)。そのオスプレイ=ミサゴの姿も見ることができました!

武本講師からはフクロウの羽から新幹線?? 序列風切羽、次列風切羽な
 ど耳慣れない言葉ではあるが羽の特性について大変興味深い講義を頂きました。
 新幹線のパンダグラフは音を立てないで飛ぶフクロウの羽の応用で、あ
 の輝くばかりの鮮やかな羽色のカワセミ、長く尖った嘴がヒントになり無駄な空
 気抵抗を受けない新幹線先頭車両が生まれたそうです。ツグミの歩く姿を「だ
 るまさんがころんだ・・」のリズムで観察しコチドリの千鳥足は酔った自分を
 想像しながら。オオバンの大盤振る舞いならずも・・。カモ類を中心に33種
 の冬の鳥たちの饗宴です。箱根外輪山そして丹沢表尾根に囲まれた見事
 な展望にチョウゲンボウも姿を見せ! 一富士二鷹・・と余すところなく満喫
 した新年の探鳥会と成りました。

次列風切羽(翼鏡)



チョウゲンボウ



当日観察できた鳥たち: カイツブリ・カワ・ダイサギ・コサギ・アオサギ・カルガモ
 ・コガモ・ヒドリガモ・ミサゴ・トビ・オオタカ・ノスリ・チョウゲンボウ・オオバン・コチドリ・イソシギ
 ・セグロカモメ・キジハト・ヒメアマツバメ・カワセミ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・タヒバリ・ヒヨドリ
 ・モズ・ジョウビタキ・ツグミ・ホオジロ・アオジ・スズメ・ハシボソガラス・ドバト

アオサギ



参加者 1/7 (1回目)
 黒澤⑧ 水津⑨ 村井⑨ 女川⑨ 松山⑩
 碓井⑫ 永松⑫ 上宮田⑪
 1/14 (2回目) 荒天のため中止

(写真: 11期 上宮田氏、イラスト: フリーイラスト)



おお寒!! カルガモ達

『お知らせ』 神奈川フォーラム歴史・文化の会主催の勉強会に「私の認識」でおなじみの3期・高橋恒通さんが講師で登場します。

参加申し込みは不要です。 日本刀剣の話と「古典落語」

日時: 平成25年2月6日(水) 11時～、場所: 横浜市中区山手町110 神奈川近代文学館 2階中会議室、講師: 高橋恒通氏

参加費: お一人 1,000 円

出演者プロフィール

高橋恒通 (たかはし つねみち) / 芸名 花鳥亭三太 昭和11年愛媛県生まれ。昭和26年神奈川に移住。

日本野鳥の会本部会員。神奈川県森林インストラクター(県知事認定)となり、

現在は伊勢原市民探鳥会・小学生対象の自然観察会を主催するなどをはじめ、ボランティアで自然保護活動が続いている。

下記URLでも伊勢原市より花鳥亭三太氏は紹介されています。

<http://www.townnews.co.jp/0405/i/2012/03/30/140211.html>

私の認識

野鳥その106

高橋 恒通

今月のガンカモ目ガンカモ科の野鳥は淡水ガモのヨシガモ(漢和名:葦鴨、英名:Falcated Duck、体長L=48 cm)です。

冬の水辺の探鳥会^{バードイング}に於いて探鳥者達を、その体色彩^{バード}りの美しさと可愛らしさで最も人気の高いのはオンドリ成鳥^{イマド}ですが、同じ理由で同位置にランクされるのがヨシガモだろうと私は認識しております。

ヨシガモは冬鳥ですが、北海道では夏鳥でその少数が越冬するそうです。

ヨシガモ成鳥^{イマド}の体色は、額から頭頂そして後頭にかけて赤紫色の帯があり、これを挟む様に眼先から頬、嘴の付け根までが黒っぽく光の加減で赤紫色に見えます。そして目の後方は金属光沢の緑色が後頭部の辺りを占めます。また喉下から側頸が白色でその下側に黒色の首輪、その下が白色の首輪なので白黒白の首輪のコントラストがよく目立ちます。

更に興味深いのが、目の後方を占める金属光沢の緑色の毛は、その毛先が後頸部^{ヒヤシ}で尻の如く突き出しています。故に頭部を側面から見ると恰も帽子を被った如く見えます。



その帽子は、彼のナポレオン・ボナパルトが愛用した帽子に似ている故、カモ類が好きなバーダー

ー達はヨシガモを「ナポレオンハット」と称し、命名者の知性が偲べれます。

「ナポレオンハット見た?」「今日はまだナポレオンハットに逢ってないネ」などと会話しているバーダーは可成り“鳥好き”の人達です。

少し脱線しましたので体色の説明に戻しましょう。

ヨシガモ成鳥^{イマド}の体色は胸前に白色の輪郭線を灰黒色の羽根を1枚1枚丸く囲み、恰も魚の鱗を連想させ、然も胸前に大小がグラデーションをつけて配列しております。これだけでも見応えある紋様なのに、更に体下部、体側下部にかけてそのグラデーションは細かく、恰も和服の柄にある“江戸小紋”を

彷彿させられて、造化の神による精緻な仕事振りに思わず息を飲むこと請合です。双眼鏡の中で目の前に展開する微細で美しい紋様は幾度観ても感動を禁じ得なくなる筈です。次が尾羽を覆う三列風切です。黒色で長いその羽縁はクリーム色で先が下草刈に使う大鎌の刃の如く湾曲しています。英名のFalcatedのFalcateとは鎌形を意味します。即ち名詞を過去形にして受身の形容詞として“鎌形をした”となります。

ヨシガモの英名 Falcated Duck の名前の根拠は三列風切の恰好からだ認識しております。

それに加え灰黒色の上嘴の付け根にある白色斑と下尾筒側面のクリーム色と黒色の太い縦線が極めて鮮やかです。これに引き替え成鳥^{イマド}の体色は全体が褐色の地味な斑紋です。

棲息環境は湖沼、河川、池、内湾などで、日中は池の中央や葦原など人気の無い処に居て、夕方から水田や岸辺に移動し、イネ科の植物の種子などを採食します。

我国では北海道で少数が湿原や沼辺の草地で繁殖。♀のみが抱卵、育雛をします。

群れで越冬する個体は本州中部地方以南に多いけれど局地的と言われています。従って私達の住む関東地方では数は少なく、地域の偏りがあり、どこでも観られる野鳥ではありません。

世界地図上の棲息分布も繁殖地が東シベリア、サハリン、カムチャッカ、そして越冬地が日本、台湾、中国東南の沿岸域と限定されております。

俗っぽい表現で済みませんが、この愛すべきヨシガモに惚れて下さい。



〈参考資料〉

◎日本の野鳥、山溪ハンディ図鑑 7, 写真・解説/叶内拓哉, 分布図・解説協力/安部直哉, 解説(鳴声)/上田秀雄, 山と溪谷社

◎フィールドガイド日本の野鳥、野鳥ブックス②, 高野伸二著, (財)日本野鳥の会

(イラスト) 広報 大塚 晴子

活動短信



平成24年11/3～11/24の分
投稿頂いた中には、紙面の都合上、次号以降の掲載になるものもあります。
予めご了承下さい。

◆ パートナー林・森林保全活動(間伐) & 木工

日 24年11月3日(土)9時半～12時、晴れ
場 県立21世紀の森「日本石油輸送の森」・森林館
参 日本石油輸送社員とその家族

間伐: 大人8名、木工: 大人3名 子供2名

スタッフ (木工)足柄グリーンサービス 2名

イ L小沢⑨、出口④、村井⑨

・木工: 木工加工については、子供達は立体画(野鳥をベースの)と、ゴム動力で動くうさぎ(New)を作りました。双方とも、大人がびっくりするほどの作品で、皆様は思わず拍手をしていました。大人の方々は、足車の動物作りが大半でした。総合的に、21の森の指導員様の指導のご協力もあり、ボールパン・ジグソー・サンダーを操作しましたが、皆様(子供含む)いずれも、うまく機器をこなしており感心いたしました。そのためか、怪我もなく、それぞれ傑作品が完成し終了致しました。

(記 4期 出口 工吉)

・間伐: 下の駐車場で準備体操後、リーダーから間伐の方法が説明され、道具を身に着け出発。学校林を抜け少々登り県民参加の森林づくり現場に近いヒノキ30年の林が作業地でした。まったくの初心者ばかりなので、1班4人体制で1本間伐することにした。2班とも掛かり木はあったが助けを借りる事なく玉切り、枝払いをして経路の邪魔にならぬよう処理。ヒノキの香りに一同癒されて、駐車場に戻り道具の掃除をしてヒヤリハットもなく無事終了した。

(記 9期 村井 正孝)

◆ 第6回フローレンスガーデン感謝祭 工藤建設

日 24年11月4日(日)10時～15時、晴れ
場 工藤建設株式会社本社 1階屋内
参 750名

スタッフ (木工)足柄グリーンサービス 2名

イ L永野⑥(主催者)、米本②、落合③、渡部⑦

フローレンスガーデンのオーナー様限定の感謝祭で第6回目となります。今回は「森のコーナー」で、ウグイス笛・竹とんぼ・どんぐりトロのクラフトとコマ廻しを楽しんでもらいました。

昨年につづき今年も東北復興支援として東北6県から地元B級グルメの屋台を招待していました。参加者は過去最高の750名で森のコーナーも途切れ

る時が無い位の盛況でした。という訳で残念ながら今年は屋台に行くことが出来ませんでした。安全第一でという朝の打合せどおり怪我人を出さずに無事に終わってなによりでした。

(記 2期 米本 力)

◆ 愛川宿泊体験学習 (高取山・仏果山登山)

日 24年11月5日(月)8時半～16時15分、雲り
場 愛川ふれあいの村
参 横浜市立浅間台小学校4・5年生70名、
先生10名

イ L渡部⑦、佐藤⑤、阿部⑧、黒沢⑧
村井⑨、松山⑩、赤崎⑫

4、5年生の宿泊体験学習として、高取山・仏果山登山の付き添いを行った。天候が心配され、合羽を着用した生徒もいたが、登山中は何とか雨にはならず下山できた。

登山中に、水源林の役割、天然林と人工林の違い、杉と桧の違い、山の仕事などの説明、下山後の時間で種子散布についての説明や実験を実施した。

4、5年生は高取山登山のみが多いが、浅間台小学校は毎年仏果山登山まで行っている。班は4、5年生混成で4年生が5時間強の登山が出来るか心配したがが無事歩ききった。5年生は前年経験しているため自信を持って4年生を励ます姿は他の学校では見られないもので、ほほえましかった。

(記 7期 渡部 公)

◆ ニュースレター「しずくちゃん便り」

ホームページは下記URLで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

かながわの水源環境の
保全・再生をめざして



◆ タカナシの森 整備と癒し体験

日 24年11月11日(日)、曇り
場 やどりき水源林
参 タカナシ乳業株式会社社員とその家族36名
イ L高崎④、草野⑧、宮下⑩、山下⑪、安井⑫

いよいよ水源の森にも、紅葉シーズン到来といった感じの景観であったが、曇り空から雨への予報があり全日程を少し早めながらの活動であった。開会の挨拶、ストレッチ、アイスブレーキング行った。今回は、初めての家族でお子さん連れも多かったので、道具の装着、使い方を入念に説明し、3グループに分かれてタカナシの森の整備に取り組んだ。倒木処理班は、子どもた

ちもノコギリ引きを体験できた。枯れ枝整理、ハンモック下の石の整備も行った。午後は、水源涵養保水実験と紙芝居を通して、森林の働きを学習した。集合写真を笑顔で撮り、癒し体験を進めた。滝郷の滝にて深呼吸、樹冠のゆらぎ、ハンモックでの休息等、1/fのゆらぎを感じながら癒し体験をしていただいた。けがもなく、安全に家族でひと時を過ごしていただいた。日程を早めたおかげで、降雨にも間に合い、絶妙なタイミングでプログラムを終了することができた。

(記 11期 山下 剛史)

◆ 間伐体験

日 24年11月13日(火)8時～14時、曇り／晴れ
場 小田原市の森
参 小田原市立三の丸小学校5年生 28名
 担任、父兄 4名

スタッフ 小田原市職員 3名

イ L山崎⑦、柴⑪、徳岡⑪、渡辺⑫

間伐整備された明るい林を横にみて、「こういう森になるように」という説明、森の手入れの仕方の講話、さらに間伐の手順を模型を使って説明が行われ、生徒の理解を助けた。4班に分かれての15年生の檜の間伐を実施した。生徒は真剣に取り組み、また協力しての枝掛かり処理に感嘆の声が聞こえ、最後に各自コースターを切り取り、満足した様子だった。

昼食は班別に一緒にとり、環境や森の質問を受けながらの有意義な時間であった。最後に市職員の「森の働き」についての講話および、生徒の質問や感想、感謝の言葉が発表され締めくくられた。「貴重な体験」、「細い木でも大変な作業であること」、「またやってみよう」

などの元気で明るい子たちの意見が聞かれ、インストラクターとしても感謝。この授業は総合学習の選択肢として該クラスが応募したものとのこと、こういった取り組みがもっと広がることを希望する。

(記 12期 渡辺 敏幸)

◆平成24年度第5回

川崎市里山ボランティア育成講座

日 24年11月17日(土)9時～15時、曇り／雨
場 講義: 幸市民館日吉分館
 実習: さいわいふるさと公園
参 一般市民による講座メンバー 29名
スタッフ 川崎市公園緑地協会他 7名
イ L金森⑩、清水⑧、大橋⑪、福島⑪、門澤⑫

全6回講座の第5回目。予報は曇りのち雨、午後の実習を午前に変更する。実習場所へ移動する頃には雨がぱらつき始める。各班それぞれ前回調査したエリア

に分かれて除伐・間伐作業に取り掛かる。午前中は大雨にはならず安全に作業ができた。作業は樹木の種類や込み具合を考えながら各班話し合って伐る木・残す木を決めて作業してゆく。昼食後、市民館にて鋸の手入れの仕方を復習する。座学は「調査・記録の活用等」を行う。予め記録した樹木の分布データを各班に配布し、何が読み取れるか話し合ってもらふ。出された意見に対して講師が丁寧に解説していった。次回、第6回(最終回)は1月5日(土)散策、懇親会(トン汁)、竹の間伐、閉校式を予定する。

(記 10期 金森 厳)

◆ 回胴式遊技機商業協同組合の下草刈り

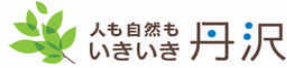
日 24年11月17日(土)、曇り／雨
場 やどりき水源林
参 78名(大人71名、子ども7名)
県 西口課長、後藤様
イ L森本⑤、坂齋⑦、有坂⑧、村井⑨、杉崎⑩

パチスロの協同組合で、環境保全の一環としての社会貢献活動。H19年に広葉樹130本を植栽。この下刈り体験として、関東甲信越エリアから78名が参集。

当日は荒天のため、多くのNW先が延期となったが、雨天決行との事前設定は、頼もしい。渡河の増水リスクもあったので、道具の受渡し面で時短のオペレーションとした。植栽木は大きく育っており、鹿柵内のエリアとはいえ、喜ばしい限り。

緑の募金で、募金額が13,877円(レコード)となり、びっくりした。

(記 5期森本 正信)



丹沢の自然再生に取り組む
 丹沢大山自然再生委員会ホームページをご覧ください。
<http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ パートナー林保全活動

(間伐、林内整備、癒し体験、ワークショップ)

日 24年11月18日(日)10時～15時、晴れ
場 やどりき水源林 延寿の森、タカナシの森
スタッフ 槐の会 當麻様、軽部様、他5名
参 槐の会 75名(申し込み70名)
県 内田様、篠原様
イ L草野⑧、高崎④、出口④、宮本⑥、若林⑦、高橋⑨、時田⑩、山下⑪、福島⑪、安井⑫、岡田(華)⑫

前日の雨も上がり、絶好の山日和になりました。挨拶・体操と順調に進み班ごとに延寿の森の間伐18名、林内整備、アニマルヘッジ作り26名、いや

しの森間伐8名、小径等整備23名それぞれに作業に入りました。今回は延寿の森に前より植樹されていた樹木の整備と補植を行いました。小さな苗木が大きく育つように大切に作業しました。又、安全第一をめざし延寿の森では50年近い杉の間伐、いやしの森では倒木の処理などを行いました。昼食は槐の会でご用意いただいた鹿シュチューをいただき午後のメニューに入りました。五感による森林癒し体験コース62名。子供を含め班ごとに分かれハンモック、暖かなハーブティー等で心安らくなり、コース終了後バスソルト作りをおこないました。森林環境での癒し体験を日常生活に少しでも生かす試みです。テキサスの岩塩を使用し、柚子皮のドライ、柚子の葉又香りに精油をつかいビニール袋にいれ、帰宅後お風呂に入れ使用すると体が温まると同時に香りも楽しめるグッズです。クラフトでは竹とんぼ作りを行いました。熱で羽根をしならせ、いかに高く又遠くに飛ばせるか大人は童心にかえり、子供は目を輝かせ熱中していました。最後に子供たちが飛ばし競技を行い甲高い歓声にやどりき広場が湧きました。

(記 11期 福島 正治)

◆横浜トヨペット労働組合「そよ風の森」間伐・自然観察体験

日 24年11月20日(火)10時半～12時半、晴れ

場 やどりき水源の森

参 22名

イ L小野⑦、佐藤⑤、阿部⑧、杉崎⑩

寒さがゆるみ、風もなく穏やかな秋晴れの好天となった。労働組合の方及び家族を含め22名が間伐11名、自然観察11名に分かれ、紅葉が見ごろの水源の森での体験活動を行った。間伐は更に2グループに分かれ、後沢右岸の鹿柵内の傾斜地でヒノキの間伐を実施。到着が遅くなり、現地で鋸を入れたのが11時半と正味1時間の作業だったが、緊張の中にも冗談が混じり、各グループともヒノキを1本ずつ間伐した。初めての方がほとんどだったが怪我も無く、切ったヒノキの香りに感動していた。自然観察グループもBコースと林道コースの2班に分かれ、1班5、6名の観察会には理想的な人数でした。寄沢右岸の、錦織なす紅葉絵巻、清流のきらめき心地よい音色…。陽光差し込む人工林の造形美…。森林(自然)の恩恵を肌で感じ、この「美しき天然」を守り、次代への引継、など話題豊富な有意義で楽しい観察会でした。

(記 8期 阿部 純一、10期 杉崎 恒三)

◆県民参加の森林づくり(H24.11/23→11/24)

日 24年11月24日(土)、晴れ

場 相模原市緑区鳥原(奥野)

参 45名

財 内海課長、永島様 **看** 田嶋様

スタッフ 相模原市みどりの協会 2名、

津久井市森林組合 1名

イ L高橋⑨、国分③、渡辺③、高橋③、柳③、島岡③、堀江④、佐藤⑤、富樫⑥、永野⑥、愛木⑦、渡部⑦、有坂⑧、清水⑧、宮下⑩、加藤(久)⑫

平成24年度「県民参加の森林づくり⑧」の活動を行いました。予定では前日の23日(土)の予定でしたが、雨のため翌日の開催となり、参加人員も当初申し込みの約半数となる45名の参加で行いました。

当日も移動中には雨が降る状況でしたが、現地到着の頃には何とか雨は止み作業開始となりました。今回の活動は、今年度唯一の昼食後も作業を行う活動であり、朝のミーティングと体操後に班毎に各々の持ち場を目指し移動を行いました。

作業場所は、昨年も実施し混み具合は少し改善された場所。ほとんど手は入っていないくて樹冠がふさがっている場所。と多少状況は異なる場所がありましたが、共通して傾斜が急で足場の確保、枝掛りに対する処置、胸高直径が20cmを超えるものも多いなど、作業難度は高い場所での作業でした。

参加者は雨でも参加されるベテランも多くいましたが、企業から参加し経験の浅いグループもあり、夫々のインストラクターが参加者のレベルに合わせ指導をしていました。

企業からの参加者はロープ掛け、受け口、追い口の作る意味も目新しいそうで、慣れないノコギリを使い間伐作業に取り組んでいる姿が印象に残りました。

(記 9期 高橋 修)

略語の説明

日 : (平成) 年日付、 **場** : 場所、 **参** : 参加者、

県 : (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)

財 : ((公財) かながわトラスみどり財団)

スタッフ 例 小田原市森林組合・XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

看 : 看護師、 **イ** : インストラクター (○数字 : 期)

かながわ森林インストラクターの会は
支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。



やどりき水源林 ミニガイド

1月のトピックス

時期を間違えて咲いたヤマブキ



(林道コース 1月9日撮影)

2月の水源林

冬の景色もよいものです。うまくすると雪景色やその上を歩いた動物の足跡や氷柱を見ることができるかもしれません。後半には春の訪れがありミツマタの開花も見られるかも。

「森の案内人」情報

(12月、1月、2月は休止です。)

3月からは

- 実施時間：毎週土曜・日曜・午前10時・午後1時1～2時間程度
- 集 合：水源林入口ゲート前
- 内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財) かながわトラスティ
みどり財団 TEL:045-412-2255

携帯：090-8580-5348
fax:045-412-2300

- ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>
- E-mail:midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線
松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

3.11 東日本大震災、2年目をむかえて
『それでもわたしは木を植える』
畠山 重篤さん 講演会

2013年2月9日(土)

神奈川県民ホール・大会議室(6F)

13時開場 13時半～15時半講演

主催NPO法人りんご会

参加費(資料込み)一般1,000円

参加申込み・問い合わせ先

NPO法人りんご会

E-mail apple327@dg8.so-net.ne.jp

TEL045-826-0014

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

小沢章男まで

Mail:a.ozawa@tbz.t-com.ne.jp

Tel:0467-52-2191

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉 2-1-50

Tel/090-6150-6173

Mail:s.akasaki-k_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax:045-301-9401

電話連絡先:090-7962-3168

Mail:matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口俊則

(1月号からメールアドレスが変わっています)

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax:0465-42-7240

Mail:minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax:046-825-9281

Mail:12nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

まつだ桜まつり (予定)



2/9(土)～3/10(日)

編集後記

★風邪をひきました。全然治りません。女の30代はほぼ毎年厄年ですからこんなもんかとあきらめています。(赤崎)

★大変お世話になっている日揮さん。アルジェリアで10人の方々が亡くなりになりました。ご遺族、会社の皆様のお気持ちを思うと心痛みます。1月24日(木)竹島さん、森本さんと献花をして参りました。ご冥福を心よりお祈りいたします。<合掌> (村井)

★まだ朝の薄暗い時間に東の空を見ると明けの明星が光り輝いて降ります。その数十分後には同じ東の空から眩しい日の出を見る事が出来ます、今日も素晴らしい一日を祈ります。(小沢)

★厳しい寒さの中 ロウバイの花が咲き始めました。春よこい早く来い!と逸る思い一杯です。(水口)

★1月14日の大雪で思い出した言葉/家の設備がありました。ナデヨケ(雪崩避け)です。あなたの家にはついてますか。(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込みください。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込みください。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記してください。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。(頒 価 200円 送料共)

編集人: 小沢 章男

事務局: 竹島 明

広報部: 水口俊則 松本 保

真貝 勝 鈴木 朗

鈴木松弘 大塚晴子

村井正孝 徳岡達郎

加藤愛子 赤崎さほり

森 義徳

ロウバイ祭り 1/19(土)～2/28(木)



山のお帰りに是非お越しください。

山麓の オアシス ①⑥

こ ま ち

問い合わせ先

松田町役場環境経済課

TEL 0465-83-1228

小田急 新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店